

大規模盛土造成地マップ

① はじめに

平成 7 年（1995 年）の兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）、平成 16 年（2004 年）の新潟県中越地震、平成 23 年（2011 年）の東日本大震災などにおいて、大規模に盛土造成された宅地で滑動崩落による被害が多発しました。国においてこのような宅地地盤災害を未然に防止または軽減し、宅地等の安全性確保を目的とした宅地造成等規制法を平成 18 年（2006 年）に改正しました。あわせて、滑動崩落を防止するために必要な調査や工事などを支援する宅地耐震化推進事業が創設されました。

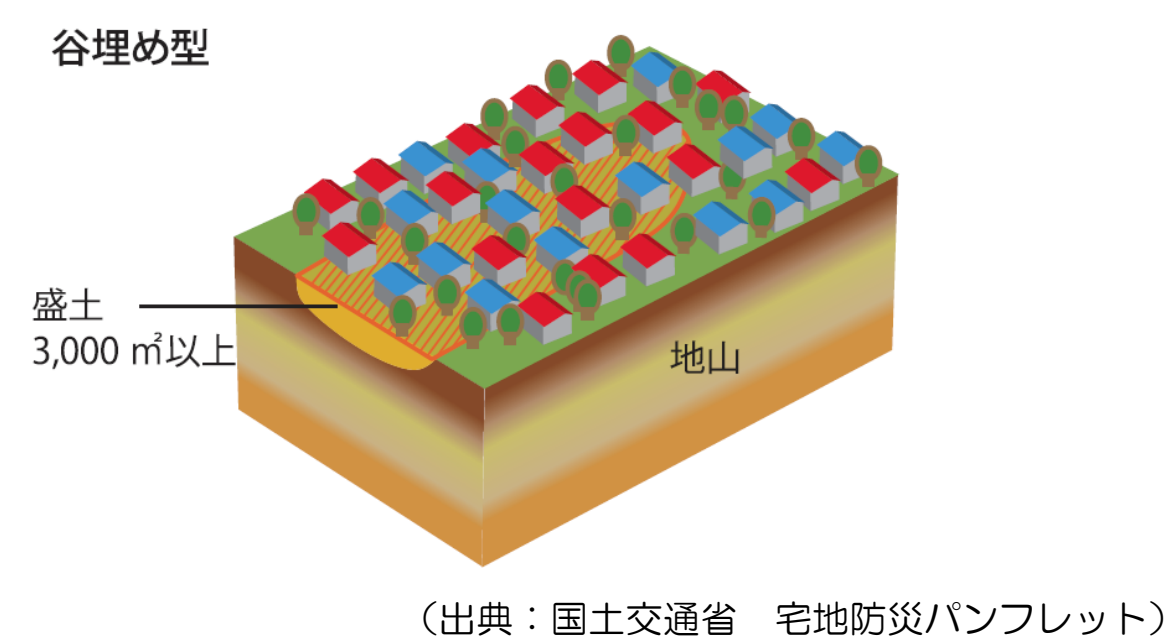
山口県では国が推進する総合的な宅地防災対策の一環として、国のガイドラインに基づき大規模盛土造成地の概ねの位置と規模を示したマップを作成しました。防災情報の 1 つとして活用してください。

ただし、マップに示された場所が地震時に必ずしも危険というわけではありません。

② 大規模盛土造成地・滑動崩落とは？

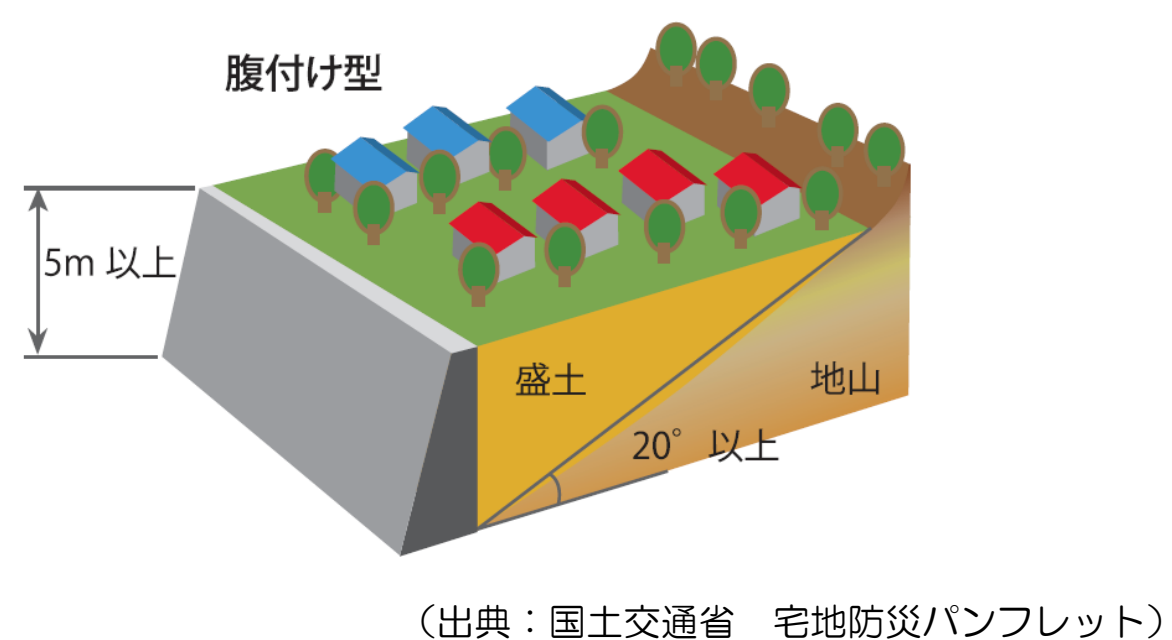
【谷埋め型大規模盛土造成地】

谷を埋め立てた宅地で、盛土の面積が 3000m² 以上の盛土造成地



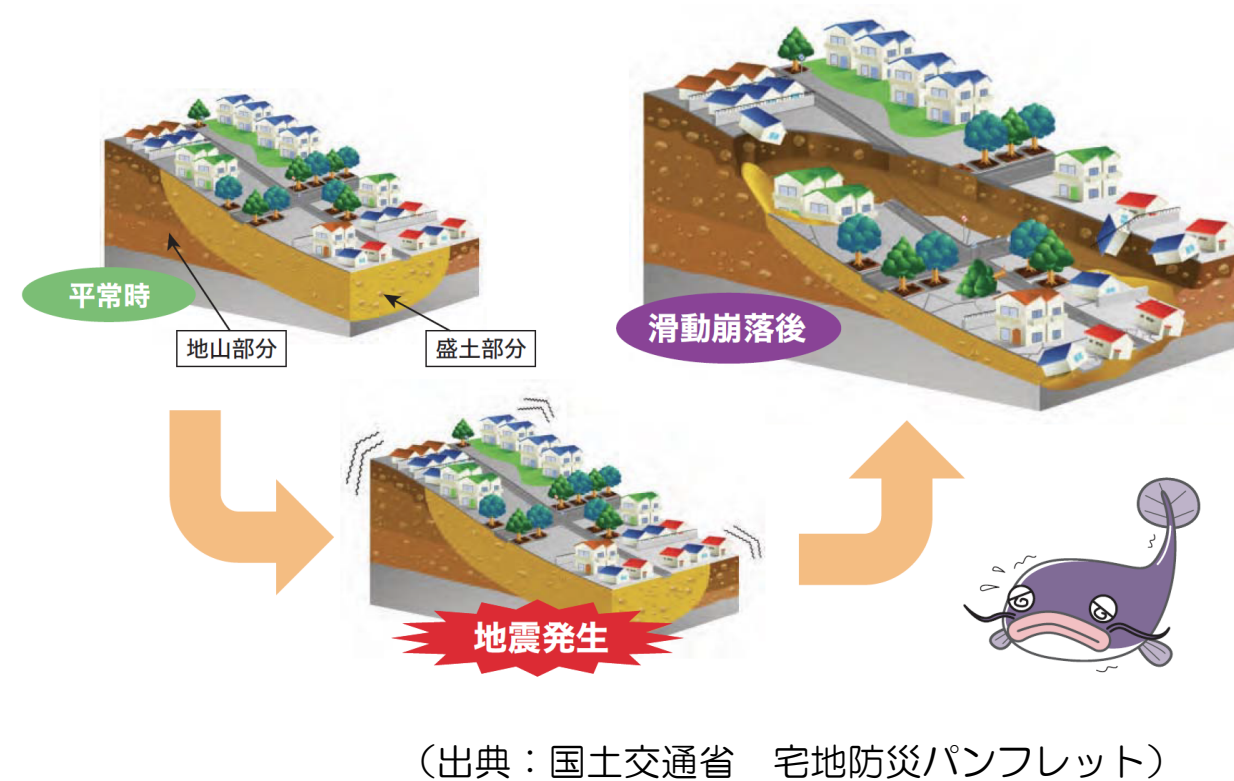
【腹付け型大規模盛土造成地】

傾斜地盤上に盛土した宅地で、盛土する前の地盤面傾斜が 20° 以上の急な斜面で、かつ、盛土高さが 5m 以上の盛土造成地



【滑動崩落】

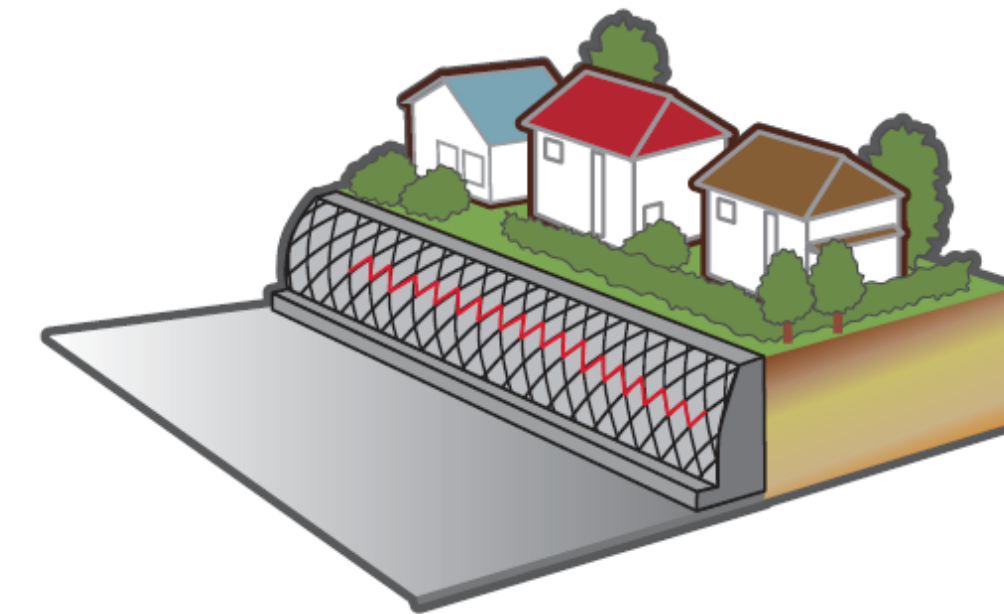
地震時及び降雨時等に造成宅地において、盛土全体又は大部分が、主として盛土底面部を滑り面として、旧地形に沿って流動、変動又は崩落する現象



③ 大切な宅地のチェックポイント

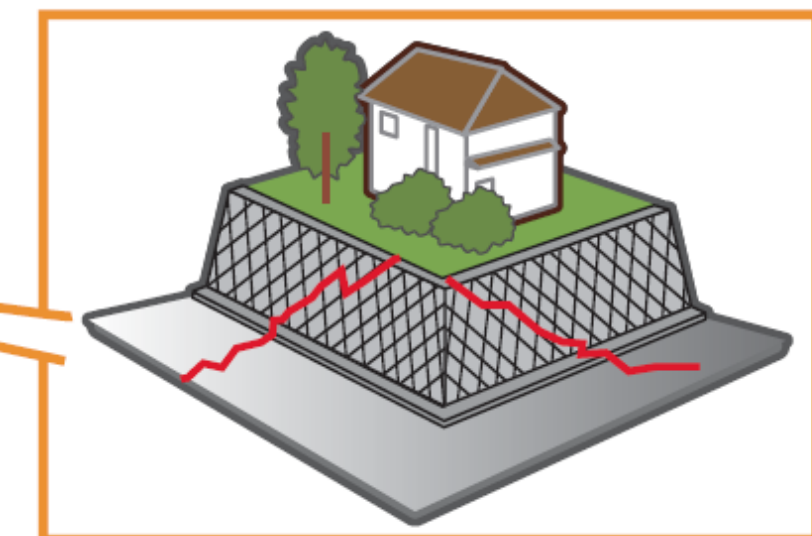
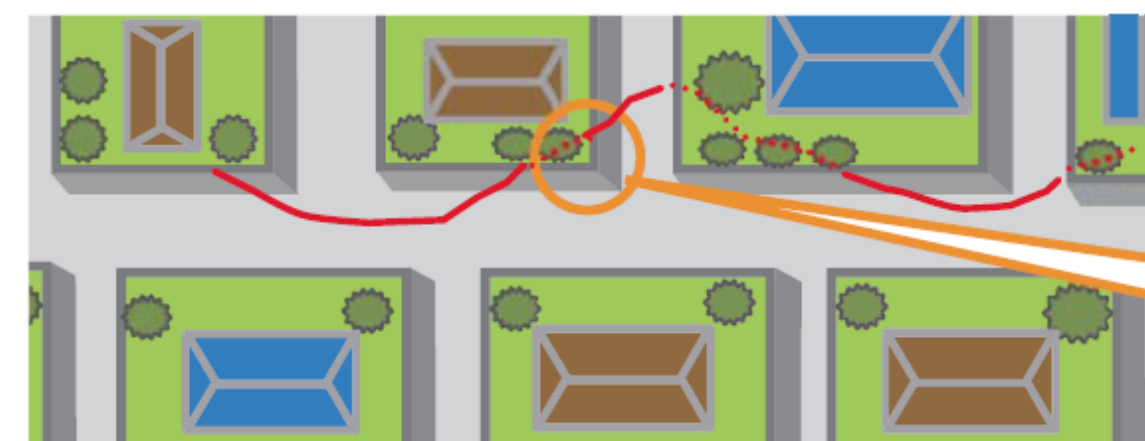
宅地の災害を防ぐためには、日頃からご自宅の宅地や周辺の擁壁、斜面などに目を配り点検することによって、宅地被害の前兆となりうる異常を早く発見できます。

○擁壁の長い区間で変状（ハラミ出しや水平亀裂）が見られる。

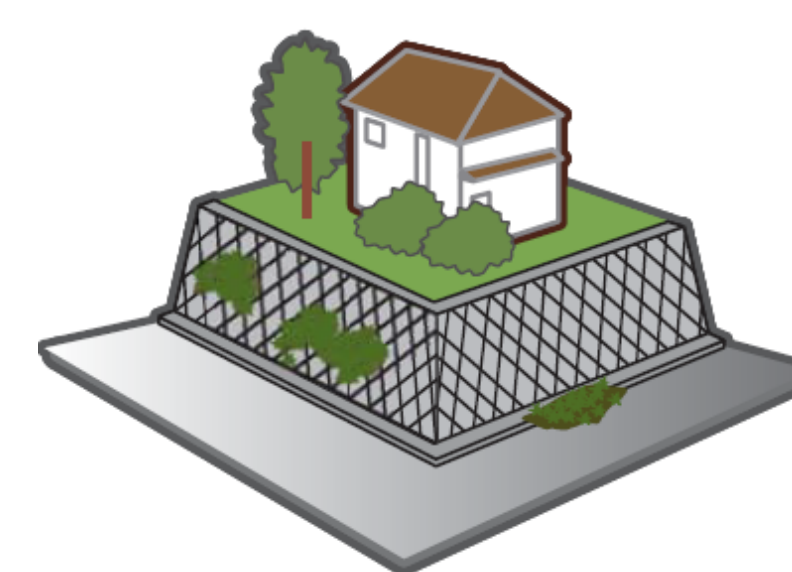


長い亀裂
(提供：社団法人 全国宅地擁壁技術協会)

○宅地地盤（道路や側溝を含む）・擁壁の変状が連続している。



○擁壁がいつも水のしみ出しにより濡れている、コケが生えている。

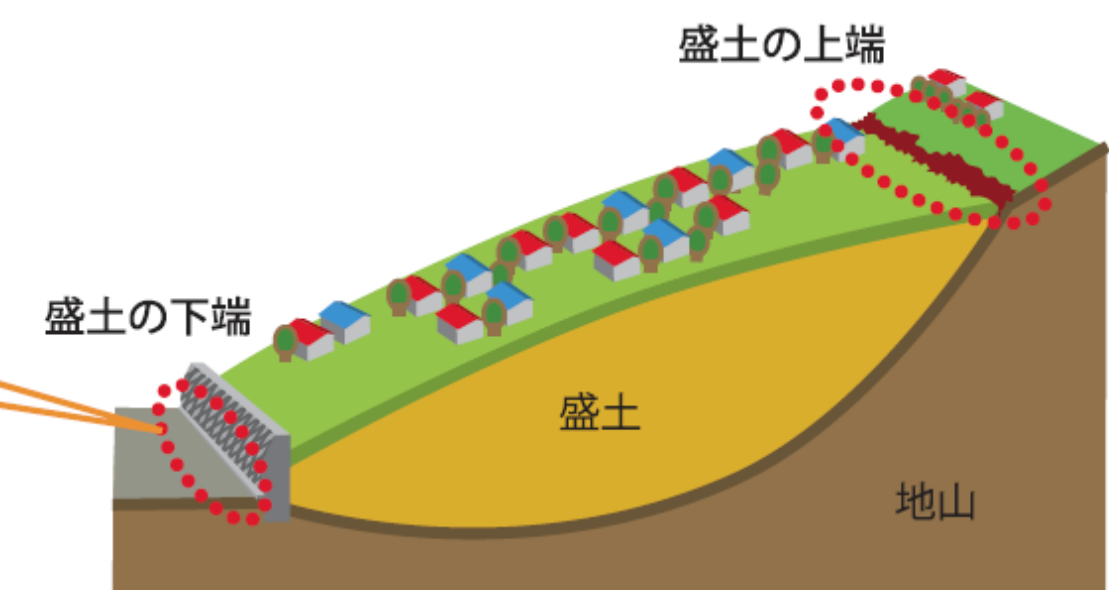


水がしみだしている擁壁 湧水部分にコケが生えている擁壁
(提供：社団法人 全国宅地擁壁技術協会)

○盛土の範囲が特定されている場合、盛土の上端と盛土の下端の部分の擁壁などに変状が見られる、湧き水がある。



擁壁下端のハラミ出し
(提供：社団法人 全国宅地擁壁技術協会)



【宅地耐震化推進事業に関するリンク集】

- 国土交通省 宅地耐震化事業 URL：<http://www.mlit.go.jp/crd/web/jigyo/jigyo.htm>
- 国土交通省 宅地防災トップ URL：<http://www.mlit.go.jp/crd/web/index.html>
- 国土交通省 宅地防災パンフレット URL：<http://www.mlit.go.jp/crd/pamphlet.html>

【お問い合わせ先】

山口市役所 開発指導課 TEL：083-934-2847
〒753-8650 山口県山口市亀山町2番1号
URL：<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/74/>

山口県建築指導課 TEL：083-933-3830
〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号（山口県庁12階）
Email：a18800@pref.yamaguchi.lg.jp
URL：<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18800/index/>